

令和5年度 愛媛県立野村高等学校 第三学期終業式式辞

皆さん、おはようございます。今日で令和五年度が終わります。今年度は、しばらく開催できなかった行事がたくさん復活し、とても充実した年になりました。生徒の皆さんにとってこの一年は、どんな一年だったでしょうか。

私は三学期の始業式で、夢を叶えるためには「目標」を決め、そのために「やるべきこと」を決め、その「やるべきこと」を「実行」に移しましょうと話しました。皆さんはそれぞれの夢を叶えるために頑張ってくれていることと思います。学校生活の良いところは、三年間の中ではっきりした節目が何回もあるということです。三学期の初めに立てた目標がうまくいかなかったとしても、新学期から新たな目標を立ててそれに向かって努力することができるのです。節目があるということは、何度でもやり直せるということです。是非、明日からの春休みを有意義に過ごして、しっかりした目標を立てて、新年度を迎えてください。

さて、皆さんは、この言葉を聞いたことがありますか。「目の前に立ちはだかる高い高い壁。その向こうはどんな眺めだろうか。どんな風に見えるだろうか。おれ独りでは決してみることのできない頂の景色。」そう、これは、アニメ『ハイキュー』の主人公・日向翔陽の言葉です。日向は身長が160センチで、決してバレーボール向きの体格ではありませんが、夢の春校バレーで頂点に立つために努力を重ねて、人並外れた跳躍力を身に付けます。小柄な彼が、相手のブロックの上からスパイクを打つ姿に、私は何度も勇気付けられました。今年度の卒業式の式辞で、「自分の弱みを強みに変える」という話をしましたが、この『ハイキュー』の主人公・日向もまさしく、「身長が低い」という「弱み」を人並外れた跳躍力という「強み」に変えた例だと思います。皆さんには、自分の夢を叶えるために、自分の「弱みと強み」について考え、これからも努力を続けてほしいと思っています。しかし、特に集団で行うスポーツや仕事において、自分の力を鍛えるだけでは越えられない壁があります。それは仲間とともに力を合わせることで、始めて乗り越えられるものであるのです。

今年度、仲間と一緒にいろいろな場面で活躍している皆さんの表情は、とてもキラキラしていました。無限の可能性とエネルギーを持っている皆さんが、野球の大谷選手の二刀流を越える、学習、部活動、学校行事の「三刀流」に一生懸命に取り組み、日々成長している姿を見て、私はとてもうれしく思っています。仲間との協同作業は、本当に素晴らしい効果を生み出します。一人が考えること、できることはたかが知れていますが、仲間と知恵を絞り工夫し合うと1+1が2ではなく3や5に、もしかしたら100になることさえあるかもしれません。時には、考え方の違いから口論になり、予定通り進まず悩んだこともあったでしょう。しかし、それらもすべて含めて、皆さんが社会に出て取り組むそれぞれの「仕事」の原点となる大事な経験です。この経験をしっかり胸に刻んで、これからの学校生活がさらに充実するように、そして皆さんの夢を叶えられるように、それぞれが目標に向かって全力で頑張ってくれることを願って、令和5年度3学期終業式の式辞とします。